「今年の美波、人口推移はどうなってる？」

2017年人口動態		4月	5月	6月	合計
自然動態	出生数	3	0	1	4
	死亡数	14	9	10	33
	合計	−11	−9	−9	−29
社会動態	転入数	33	19	8	60
	転出数	33	13	15	61
	合計	0	6	−7	−1
総人口増減		−11	−3	−16	−30

この数字は、今年の４月から６月までの美波町の人口推移です。美波ふるさと創生広報チームでは、町の魅力を測る指標として社会動態人口の推移に注目しています。

４月は進学や就職により転出入が多くなる時期です。今年も多くの方が美波町を離れていますが、同じ数の方が美波町に移住しています。さらに、５月には転出を上回る19人もの方が美波町に移住しています。４月から６月までの合計で見ると社会動態人口の合計推移は「−１」ですが、これは過疎が進む地方の中でも健闘していると言えるのではないでしょうか。移住者の中でも８割近くが30代以下の若者です。サテライトオフィスなどにより、若者が「働きたい」と思えるような仕事が増えたと同時に、「暮らしたい」と思える町の環境によって生まれた結果だと思います。

日和佐小学校でデュアルスクール、再び！

昨年の10月、美波町立日和佐小学校でデュアルスクールを体験した男児が、今年も帰ってきました。今回は７月10日から７月20日の10日間の滞在でした。前回できた友達とも久しぶりの再会。デュアルスクール期間中は、クラスのみんなと一緒に帰ってきてすぐに遊びに行くことも多く、夏の美波町を満喫してくれたようです。

「東京にいるときには、仕事が終わるまで学童保育などに預ける必要があるが、美波町は近所の人との距離が近いし知っている人ばかりなので、近所で遊ばせておくことができる。子どもを育てる環境としても安心。また、東京だと家に人が来ることはほとんどないが、オフィスと居住スペースが一緒のサテライトオフィスには来客が多い。すすんでお茶を出してくれたりするようになり、ちょっと大人になったかも。」

友達との通学風景

滞在中にサテライトオフィスで働くヒトカラメディアの杉浦さんは、母親としてデュアルスクールを通した子どもの成長を感じたようです。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館１階
由 岐 地 区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン２階）

リレーコラム８

美波町で生きる

美波町建設課　丸 西 啓 太

私が美波町で生活を始めて、四ヶ月。一言で表現すると静かな良い田舎という印象です。住み始めた頃は、色々不便を感じていました。もっと大きなスーパーがあれば…食べ慣れた飲食店に行きたい…と普段あったものが急に無くなったように感じました。【住めば都】とは、良く言ったものですね。一ヶ月経つと何も気にならなくなりました。今では毎日が充実して、日々の生活と仕事に奮闘中です。

しかし、あることに気が付きました。今の私に出来ないことがありました。それは、方言です。いつの日か私も意識しないで「飯するけ」や「現場行くけ」と言える日が来るよう美波町に馴染んでいきたいです。

次回は、美波町役場建設課　福島康人さんにお願いいたします。